

12/17
赤旗

パパママ「原発ノー」

東京・武蔵野歩いて訴え

子どもたちへのフレイゼントは原発も戦争もない未来。「パパママ」が6日、東京都武蔵野市でおこなわれた。サンタクロース

寺駅周辺を歩きました。休日できわう沿道からは、手を振って応える人の姿もありました。

「放射能から子どもを守りたいパパ・ママの会」が「自分たちの住む地域での活動を大切に」と呼びかけたもので、今回で10回目。

クリスマスツリーの衣装で参加した世田谷区の毛里（もうり）美穂子さん（46）は「恥ずかしさより興味をもってもらうことが大切。『あれは何だったんだ』と、あとで深く考えるきっかけになってくれれば」と話しました。

沿道から6歳の男の

子にひかれ、隊列を追鷹市に住む山本多津子（たつこ）さん（92）です。「孫が



「原発いらない」「戦争反対」と訴えて歩く参加者＝6日、東京都武蔵野市

デモに行ってみたくらいのでついてきました。昨年暮れに両親とアフリカ大陸でクワターに遭遇し、幼稚園が閉鎖するなど、危機に対する恐怖を肌で感じたのだと思います」

男の子は「平和がいいね？」の問いに、恥ずかしそうにうつむきながらも、小さくうなずいていました。